

# ハタチ の アシタ

「成人とは何か」を一生懸命考えた  
 「大人としての自覚を持つ」「責任を負う」「社会の一員になる」「自立する」  
 生涯一度の二十歳の門出は、何をすればいいんだろう  
 みんなで考え、出した答えは「新たな旅立ちの決意となるような式」  
 Evolution——  
 さらなる発展を決意して、大人への一步を踏み出した1,081人  
 明日を見つめる瞳はきらきらと輝いていた



## 大場ヨシエさん

おおば・よしえ



花泉町花泉  
大正2年11月10日生まれ

### いつだって気遣いを忘れない働き者

昭和9年に21歳で宗一さんと結婚。米や葉タバコなどを作りました。宗一さんが亡くなってからは、朝から晩まで働いたというヨシエさん。たくましくも、気遣いを忘れたかったそうです。当日は家族の歌に合わせて「めでたうれしや」の踊りを披露。長女の鈴木たつさん(79)は「皆さんに感謝。夢のようです」と話してくれました。長寿の秘けつは何でも食べることと、日課の養命酒です。

重ねた年月、刻んだ年輪

# 百年目の寿



優しい笑顔が印象的な5人の女性。  
 大正・昭和・平成一。  
 激動の時代を駆け抜け、歩んできた  
 強くたくましい女性たちは  
 100回目の誕生日を迎えました。

## 菅野チヨさん

かんの・ちよ



千厩町奥玉  
大正2年12月12日生まれ

### 苦しい時代に「一生懸命」家族を守った

昭和8年に與吉さんと結婚。子7人、孫13人、ひ孫16人がいます。趣味は縫い物と庭の草取り。相撲観戦が好きだというチヨさんに、市長から相撲の番付が贈られました。気仙沼市に住む次男・上坂章夫さん(78)は「戦時中や苦しい時代に、一生懸命守ってくれた。長生きしてほしい」とにっこり。健康で人と話すことが好きなチヨさんの長寿の秘けつは、好き嫌いをしないことです。

## 岩瀬つや子さん

いわぶち・つやこ



一関市弥栄  
大正2年12月21日生まれ

### 感謝の気持ちを忘れない働き者

働き者のつやさんは昭和6年に哲夫さんと結婚、農業に従事しました。人と話したり、テレビを見たりするのが好き。雑巾を100枚縫って市長から相撲の番付が贈られました。長寿の秘けつは好きなことをマイペースに過ごすこと。「皆さんの心遣いで、きょうだいやみんなの分まで長生きできた」とつや子さん。6男の加藤邦良さんは「できる限り長生きしてほしい」とうれしそうでした。

## 岳サガミさん

せつ・さがみ



大東町大原  
大正3年1月22日生まれ

### 優しくも強くたくましい気丈な母

昭和8年に勲平さんと結婚。子5人、孫13人、ひ孫17人、やしやご1人がいます。楽しみは、孫やひ孫たちに思い出話や苦労話をする事だというサガミさん。勲平さんが戦死後、一家を支えるために仕出し屋と魚屋を営みしました。長男の昭郎さんは「涙しながら、頑張り抜いてくれた優しくも、たくましい母。一日、一日を大切に長生きしてほしい」と時折、言葉を詰まらせていました。

## 大場ハシメさん

おおば・はしめ



一関市山目  
大正3年1月29日生まれ

### 時に優しく、時に厳しく、人を心を育てた

「人を育てる、心を育てる」教師として長年、教壇に立ったハシメさん。趣味は短歌づくりで、詩や歌が大好きです。当日は「ふるさと」などを全員で合唱。ハシメさんも一緒に口ずさみました。娘の田鶴子さん(72)は「厳しくも、いつも心配してくれた母。できるだけ長い時間を一緒に過ごしたい」とにっこり。教員時代の教え子も駆け付けて百寿を祝いました。